

令和元年度 公共交通勉強会

公共交通を取り巻く環境は、自動車交通の普及や超高齢社会の到来など、様々な要因が複合的に重なり合う大変厳しい状況にあり、行政や交通事業者が単独で対応するには限界があります。

そこで、県では、公共交通を取り巻く諸課題の解決に向け、地域公共交通を担う人材の育成などを目的とし、行政及び事業者を対象とした勉強会を平成19年度から毎年開催しています。

令和元年度は、国の制度、予算に関する基礎的な内容、高齢者の移動手段における工夫、新しい技術の活用事例、地域鉄道の再生について、ご講演いただき、交通事業者や自治体が抱える課題の解決に向けた取組を県内の公共交通事業者、自治体等に提供させていただきました。

また、番外編として継続的に取り組まれている川西市でのモビリティ・マネジメントに向けた取組や、今年度から実施している神姫バスの「MaaS・次世代モビリティサービスに関する勉強会」から情報提供をいただき、番外編として案内をさせていただき、勉強会としての広がりを見せることができました。

今後も勉強会を通じて、公共交通の担い手への情報提供や様々な連携に結びつけられるよう取り組みます。

【主催】 兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課

【共催】 国土交通省神戸運輸監理部

【後援】 (公社)兵庫県バス協会、関西鉄道協会、兵庫県生活交通対策地域協議会

| 参加者数 | 区分 | 本編 | | | 番外編 | | | |
|------|----------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | |
| 行政 | 国 | 5名 | 5名 | 7名 | | 1名 | 5名 | |
| | 県(事務局含む) | 14名 | 8名 | 13名 | 3名 | 2名 | 5名 | |
| | 市 町 | 34名 | 41名 | 34名 | 6名 | 14名 | 33名 | |
| | 事業者 | 鉄道事業者 | 11名 | 8名 | 18名 | | 2名 | 4名 |
| | | バス事業者 | 27名 | 9名 | 12名 | | 10名 | 15名 |
| | | タクシー事業者 | 9名 | 10名 | 3名 | | | 1名 |
| | その他 | 3名 | 11名 | 2名 | | 3名 | 7名 | |
| 計 | 103名 | 92名 | 89名 | 9名 | 32名 | 70名 | | |
| | | 延べ 395名 | | | | | | |

本 編

| | |
|--|----------------------------------|
| 第1回 | 【日時】 令和元年7月26日(金)13:30~16:45 |
| | 【場所】 兵庫県民会館 |
| | 【内容】 交通政策基本法及び交通政策基本計画 |
| | 国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官 岩野 住之 |
| | 地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画 |
| | 国土交通省神戸運輸監理部総務企画部企画調整官 喜多 信夫 |
| | 道路運送法の基礎知識 |
| 地域公共交通確保維持改善事業等支援制度 | |
| 国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門運輸企画専門官 富田 和彦 | |
| みんなでおいかけ「ふれあい交通」～テーマ・ヒマ・オジャマで真の利用者の声を反映～ | |
| 大分市タクシー協会前事務局長 | |
| 大分トキハタクシー株式会社取締役総務部長 小野 孝 | |
| 大分市都市計画部都市交通対策課交通対策担当班 廣田 暁則 | |

| | |
|-----|---|
| 第2回 | <p>【日時】 令和元年 11 月 22 日(金)13:40～16:40</p> <p>【場所】 ラッセホール</p> <p>【内容】 デマンド型交通について 国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門運輸企画専門官 富田 和彦 交通不便地域における高齢者移動支援事業「たすけあいプロジェクト」の取組 豊田市都市整備部交通政策課課長 中垣 秋紀 運行予約システムを活用したデマンド交通事例紹介 健康増進のための乗り合い送迎サービス チョイソコの取り組み アイシン精機(株) 平野 幸司 リアルタイム完全自動乗り合いシステム「コンビニクル」のご紹介 順風路(株) 神谷 聖二 IoT×AI による移動予測と交通～次世代モビリティに向けたドコモの取り組み～ (株)NTT ドコモ 竹森 翔一 地域における移動課題の解決に向けた富士通の取組紹介 富士通(株) 石坂 明雄</p> |
| | <p>【日時】 令和2年2月18日(火)13:30～16:25</p> <p>【場所】 兵庫県職員会館</p> <p>【内容】 交通に関する観光予算について 国土交通省近畿運輸局交通企画課専門官 辻本 幸治 地域の交通を一つのサービスに変える WILLER 株式会社 MaaS Business Div. 平本 真樹 地域鉄道と地域の活性化～ひたちなか市の事例～ ひたちなか海浜鉄道株式会社代表取締役 吉田 千秋</p> |

番外編

| | |
|-----|---|
| 第1回 | <p>【日時】 令和元年 8 月 7 日(水) 13:30～15:30</p> <p>【場所】 キセラ川西プラザ福祉棟 3 階 川西公民館 講座室</p> <p>【内容】 「私たちの街と公共交通の視点を活かした授業づくり～川西市社会科を対象に～」 愛媛大学大学院理工学研究科 松村暢彦教授</p> |
| 第2回 | <p>【日時】 令和元年 8 月 30 日(金) 14:00～17:00</p> <p>【場所】 BIZ SPACE HIMEJI</p> <p>【内容】 「MaaS が切り拓くこれからの地域交通」 他 福島大学経済経営学類 吉田樹准教授</p> |
| 第3回 | <p>【日時】 令和元年 12 月 2 日(月) 14:00～16:40</p> <p>【場所】 西播磨地場産業センター</p> <p>【内容】 「地域公共交通政策・制度と次世代モビリティの動向」 福島大学経済経営学類 吉田樹准教授 「事例発表」 明石市グリーンスローモビリティ、朝来市グリーンスローモビリティ</p> |

参加者アンケート

【選択回答】

| 区分 | 第1回 | 第2回 | 第3回 |
|--------------------|--|--|--|
| 回答総数 | 61名 | 51名 | 51名 |
| 勉強会の満足度 (回答の平均) | 77.6点 (うち行政:77.6点) (うち事業者:71.9点) | 83.7点 (うち行政:82.8点) (うち事業者:81.9点) | 81.7点 (うち行政:77.4点) (うち事業者:85.8点) |
| 会場までの交通手段 | 公共交通:85.2% 車:9.8% 徒歩:4.9% | 公共交通:88.0% 車:10.0% 徒歩:2.0% | 公共交通:92.2% 車:5.9% 徒歩:2.0% |

【自由回答】

- 「交通政策の体系がわかりやすくまとめられており、今後担当で勉強しやすいと感じた」(第1回)
- 「大分市産の講演は実例を分かりやすく説明いただいた。」(第1回)
- 「交通不便地域の移動の実態、MaaS に様々なシステムがあることを学べた。」(第2回)
- 「民間のノウハウを知ることができ、たいへん参考になりました。」(第2回)
- 「これから運行していくにあたり、どうしていくべきか勉強になった(申請なども)」(第3回)
- 「専門用語が多く分かりづらかった。もう少しゆっくり話が聞けたら良かった」(第3回)